

2018 年 10 月 10 日

ソフトウェアの並列化技術を提供する オスカーテクノロジー株式会社への追加出資について

株式会社 INCJ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、ソフトウェアの並列化*技術を提供するオスカーテクノロジー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：小野隆彦、以下「オスカーテクノロジー」）の第三者割当増資を引き受け、同社の事業の成長資金として 6 億円を上限とする追加出資を行うことを決定し、段階的な投資の初回として 2 億円の出資を実行しました。また、今回新たに未来創生ファンド、三生キャピタル株式会社も同社への出資を行いました。

*並列化：プログラム処理を複数の CPU で並列に分散して実行させる

近年、ソフトウェアの高度化が進み、1つの大規模集積回路の中に多数の CPU (Central Processing Unit) が搭載されたマルチコアの導入が加速しています。マルチコアの活用によって処理速度の向上や省電力化が図れますが、既存ソフトウェアの多くはシングルコアで動作するため、マルチコア CPU に対応させるために並列化処理をする必要があります。

オスカーテクノロジーは、早稲田大学で開発した自動並列化技術の商用化を目指して 2013 年に設立されました。同社は、逐次プログラムを並列化させることにより、マルチコア CPU 上でのプロセッサ処理の高速化および省電力化するサービスを提供しています。当技術は、複雑なソフトウェアや多制御処理が必要とされる車載や産業機械などの領域で利用拡大が見込まれます。

INCJ は、2017 年 3 月にオスカーテクノロジーに対して 2 億円を上限とする支援を決定し、同額の出資を実行、経営支援などを行ってきました。INCJ の出資以降、同社は逐次プログラムをマルチコアプロセッサ用に自動並列化するソフトウェアパッケージの商用化を実現しました。今回の出資は、対応言語の拡張や並列化機能の高度化、ユーザーインターフェースの改良などの開発資金に供されます。

INCJ は、今回の追加投資を通して、オスカーテクノロジーの技術が、第四次産業革命において必要とされる高性能なソフトウェア分野の強化に貢献することを期待しています。また、大学発ベンチャー企業と大企業による産学連携を支援し、オープンイノベーションの推進を目指します。

オスカーテクノロジー株式会社 について

設立 : 2013 年

事業内容 : ソフトウェアの並列化サービス・コンサルティング

所在地 : 東京都新宿区

代表取締役社長 : 小野 隆彦

オスカーテクノロジー株式会社は、2013 年に白井克彦早稲田大学前総長を始め、小野隆彦客員教授、松田修一名誉教授、笠原博徳教授、木村啓二教授等、早稲田大学関係者と産業界の各リーダーが、力を結集して設立したベンチャーです。早稲田大学（笠原・木村研）が保有する特許をライセンス利用するなど、早稲田大学との研究・開発に基づいてその技術の商用化を担うことで、ソフトウェアの技術革新を推進すること、それを通じて IoT や情報機器の利便性を向上させ、更に環境負荷を低減することで、より快適な生活環境の実現を図ることを経営理念にしています。

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階
電 話 : 03-5218-7202

別添

追加支援決定案件の概要

1. 対象事業者

オスカーテクノロジー株式会社

- ・ 設 立 : 2013 年
- ・ 代表者 : 代表取締役社長 小野 隆彦
- ・ 所在地 : 東京都港区
- ・ 事業内容 : ソフトウェアの並列化サービス・コンサルティング

2. 支援決定概要

- ・ 支援決定金額 : 6 億円（上限）
- ・ 実投資額 : 2 億円（段階的な投資の初回として出資）
- ・ 支援決定公表日 : 2018 年 10 月 10 日
- ・ 共同投資家 : 未来創生ファンド、三生キャピタル株式会社
- ・ これまでの支援決定内容 :
支援決定公表日 2017 年 3 月 21 日、支援決定金額 2 億円（上限）、実投資額 2 億円
<https://www.incj.co.jp/news/upload/docs/1490073659.01.pdf>
- ・ 投資ストラクチャー図 : 別添

3. 投資意義

<社会的ニーズへの対応>

- ・ 自動車業界（燃費規制の強化、自動運転・コネクテッドカーの進展）や Industry4.0 等におけるソフトウェアの高性能化において、日本の組込み機器・ソフトウェア分野の競争力強化を図る。

<成長性>

- ・ 逐次プログラムを並列化させることにより、マルチコア CPU 上でのプロセッサ処理を高速化および省電力化するサービスが提供でき、複雑なソフトウェアや多制御処理が必要とされる車載や産業機械などの領域での利用拡大が期待される。

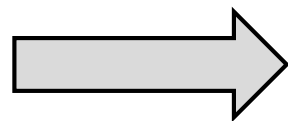
<革新性>

- ・ 大学発技術の商用化を支援することにより、成功事例を生み出すとともに、産・学・官の連携によるグローバルリーダーを創出する。

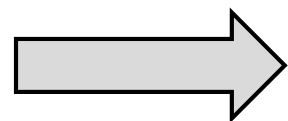
投資対象： オスカーテクノロジー株式会社
事業内容： ソフトウェアの自動並列化技術の開発
支援決定金額： 2億円(上限) / 6億円(上限)
支援決定公表日： 2017年3月21日 / 2018年10月10日



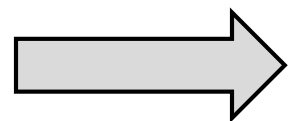
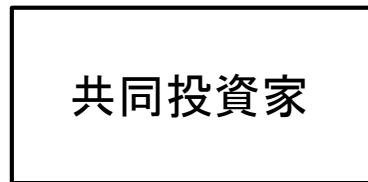
出資、経営上のサポート



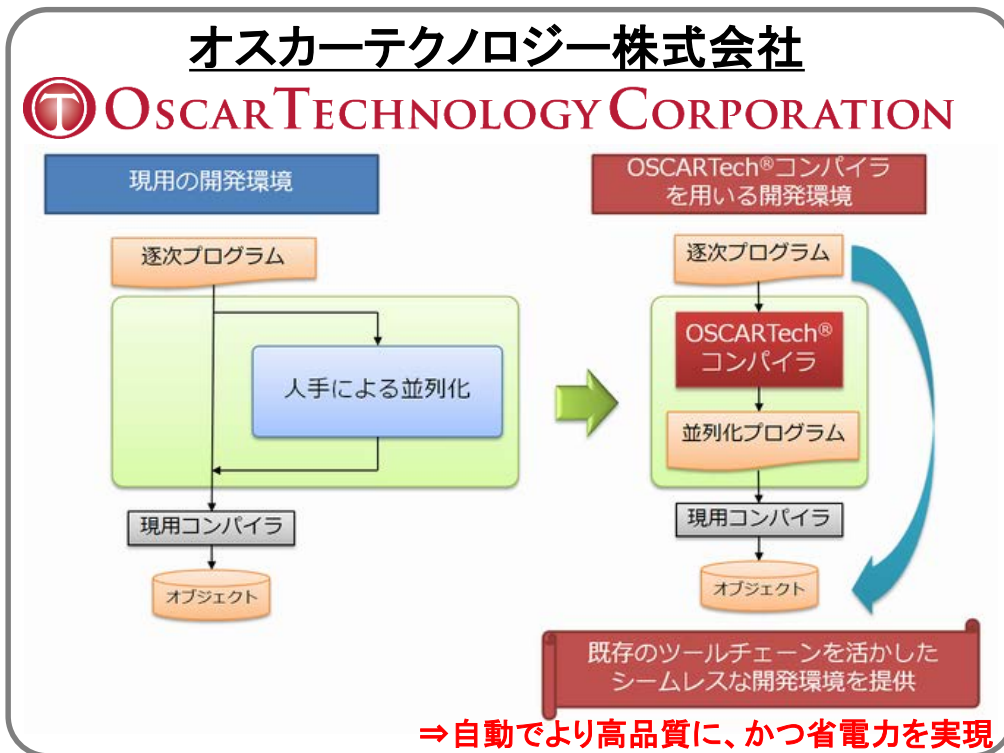
出資・共同研究



出資・共同開発



出資、経営上のサポート



- ソフトウェア分野における大学で開発した技術の商用化成功事例の創出
- 産・学・官の連携による事業化の実現
- 自動車業界(燃費規制の強化、自動運転・コネクテッドカーの進展)やIndustry4.0等におけるソフトウェアの高性能化において、日本の組み込み機器/ソフトウェア分野の競争力を強化